

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Ver.11+	クライアント	瞬快がサポートしていないUEFIブートのPCに、瞬快クライアントをインストールした場合、瞬間復元機能が正常に動作しない状態であっても、問題が発生していることが通知されない。	UEFIブートのPCで瞬間復元機能が正常に動作していない場合、タスクトレイの瞬快アイコンが赤色になり、「瞬間復元ドライバが正常に動作していません。」のメッセージが表示されるように修正しました。	【レベル】 Ver.11 【グレード】 共通	瞬快クライアント機能をインストールする前に、瞬快ホームページから「瞬間復元機能動作チェックツール」をダウンロードし、事前チェックを行ってください。	既に、瞬快Ver.11の瞬間復元機能が正常に動作している場合、本修正を適用する必要はございません。
Ver.11i	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	トレンドマイクロ ウイルスバスター コーポレートエディション 10.5 Patch 5 に対応しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	エフセキュア クライアントセキュリティ 10.00 に対応しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU2 MP1 に対応しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Sophos Endpoint Security and Control 10.2 に対応しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	システムリカバリ	機能追加	USBリカバリ機能の「Windows環境の設定(USBリカバリ用)」にて無線LANネットワークの設定に対応しました。	【レベル】 Ver.11 【グレード】 特上	－	
	システムリカバリ	機能追加	2013年度上期 ESPRIMO、LIFEBOOK の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 上、特上	－	
	システムリカバリ	機能追加	Microsoft Office 2013 のアクティベーションに対応しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 上、特上	－	
	管理機能	機能追加	機器情報のインポート、エクスポートにて、システムリカバリの関連情報も一緒に処理できるようにしました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 上、特上	－	
	vPro	機能追加	AMT 9.0 に対応しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	－	
	ウイルス対策ソフト連携	McAfee VirusScan Enterprise 8.8 Patch3 がインストールされた Windows 8 または Windows Server 2012 に対して、瞬快クライアントもしくは瞬快コンソールをインストールすると、McAfee VirusScan Enterprise 8.8 Patch3 の問題によりOSが起動しなくなる。	瞬快の提供しているドライバに GlobalSign によりデジタル署名されたものが存在しましたが、McAfee VirusScan Enterprise 8.8 Patch3 は GlobalSign によりデジタル署名されたドライバに対応していませんでしたので、瞬快ドライバのデジタル署名を VeriSign のものに変更しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	現象が発生した場合は、セーフモードでWindowsを起動し、次のコマンドを実行してください。(標準インストールの場合) 【32ビット】 C:\Program Files (x86)\Syunkai Product\Agent\DCPRG\%kfsetup.exe -Uninstall 【64ビット】 C:\Program Files (x86)\Syunkai Product\Agent\DCPRG\%x64\kfsetup.exe -Uninstall	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Googleドライブへのファイルの移動や、Googleドライブ内でファイルのリネームができない。	プログラムを改修しました。 ただし、Googleドライブとの同期処理が遅いという問題が残っています。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	なし	Googleドライブとの同期処理が遅い現象が発生した場合は、一度Windowsからログオフし、再度ログオンすることで現象が改善する場合があります。
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがインストールされたPCで、瞬快の設定情報の取得に失敗し、設定内容が変更されてしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、ネットワークドライブの割り当てを行ったドライブに対してシンボリックリンクの作成を行いファイルの作成を行うと、0x24 や 0x50 のSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	なし	
	共通機能	製品グレード(特上、上、並)が異なるクライアント同士は機器管理・操作できない。	プログラムを改修しました。 製品グレードの異なるクライアントであっても管理・操作が可能となります。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	なし	
	サーバ	大規模のクライアント環境で大量の接続要求が集中した場合、サーバ負荷が高まり、サーバサービスが異常終了する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	サーバサービスを再起動してください。	
	管理機能	固定IPアドレスのクライアントに対して、機器のプロパティのネットワーク情報がDHCPに変更されてしまう。(クライアントに対して通信ができなくなる)	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	固定IPアドレスの機器の場合、プロパティ画面のOS情報タブにて「ネットワーク情報を更新しない」を指定してください。	
Ver.11m	リモート画面操作機能	Windows XP かつ マルチディスプレイ環境の場合、モニタリングできなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	ディスプレイアダプタのハードウェアアクセラレータ設定を無効にしてください。	
	リモート画面操作機能	複数PC操作の機器候補に下位バージョンのクライアントが含まれない。(下位バージョンのクライアントを操作対象とすることができない)	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11+以前 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「ディスクイメージ配信」、「ディスクイメージ配信(端末設置後の後処理用)」もしくは「Windows環境の設定」サービスを実行した時、サービスがタイムアウトになる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11 【グレード】 上、特上	なし	
Ver.11m	運用環境	機能追加	Windows 8.1に対応しました。 瞬快サーバ機能およびコンソール機能は Windows Server 2012 R2 にも対応しました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	－	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ	機能追加	2013年度下期モデルの ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS に対応しました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 上、特上	－	対応している機種名の 詳細は、瞬快のホーム ページを参照ください。
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	トレンドマイクロ ウイルスバスター コーポレートエディション 10.6 SP3に対応しました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU3 に対応しました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Windows 8.1 に標準搭載されている Windows Defender に対 応しました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	Symantec Endpoint Protection 12.1(SEP12.1)の 仕様変更により、瞬快がSEP12.1がインストールさ れていることを認識できなくなり、ウイルス対策ソ フト連携機能が動作しなくなる。 また、SEP12.1の起動が正常動作しなくなる。	SEP12.1の仕様変更に合わせて、瞬快の処理を見直しまし た。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	SEP12.1の改変対策機能を無効に してから、瞬快クライアントを修復 モードに切り替えてください。	
	クライアント	瞬快クライアントに異常が発生し、タスクトレイの 瞬快アイコンが赤色になった場合、瞬快クラアン トは瞬快コンソールからの指示を受け付けない。	瞬快アイコンが赤色でも、瞬快コンソールからの指示を受け 付けるように改修しました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	なし	瞬快クライアントで発生 しているエラーの内容 によっては、指示通りに 動作しない場合があります。
	クライアント	UEFIブートのPCにて、瞬間復元機能に異常が 発生した場合に、瞬快クライアントをアンインス トールすると、OSが再起動を繰り返す状態になっ てしまう。	再起動を繰り返さないようにしました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	次のいずれかの操作で、修復無効 モードへ切り替えを行い、瞬間復元 機能の異常を解除してからアンイン ストールを行ってください。 ・瞬快製品DVDのTOOLフォルダ内 の次のコマンドを実行する。 ChkMbr.exe /RESTORE ・OSのインストールDVDまたはシス テム修復ディスクからPCを起動し次 のコマンドを実行する。 bootrec.exe /fixmbr	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復 モードでインストールされたPCで、Googleドライブ の同期が正しく行われない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復 モードでインストールされたPCで、ファイルの移 動や変名を行うと、エクスプローラ上からファイル が見えなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	複数PC操作において、「レイアウト表示」からグ ループの再選択を行い遠隔操作に切り替える と、全台への遠隔操作ができなくなる場合があ る。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11i以前 【グレード】 共通	一度、「パネル型表示」または「L 字型表示」に切り替えてからグルー プの再選択を行うことで回避できま す。	
Ver.11n	リモート画面操作機能	瞬快クライアントにて、次のような事象が発生する 場合がある。 ・ログオフ、シャットダウンができない／時間がか かる ・ログオンができない／時間がかかる ・PCのスリープ解除時に、PCが正しく動作しない ・アプリケーションが応答なしになる	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11i 【グレード】 共通	「Syunkai Background daemon」の サービスを停止させてください。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU4 MP1a に対応しまし た。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	システムリカバリ	機能追加	2014年度上期モデルの ESPRIMO、LIFEBOOKに対応しま した。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 上、特上	－	対応した機種について は、瞬快のホームペー ジを参照ください。
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復 モードでインストールされたPCで、Symantec Endpoint Protection (以下SEP)と共存させた場 合、SEPのエラーが表示されたり、イベントログに エラーが記録されたりする場合がある。 これらの問題を回避するために、SEPの設定を変 更する必要がある。	瞬間復元ドライバの復元方式を改良し、SEPの設定を変更す ること無く、SEPが正常動作するようにしました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	瞬快のホームページに記載されて いる、SEPとの共存時に必要な設定 を行ってください。	本レベルから、SEPはイン ストール時の初期設 定のままで共存可能と なります。
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントの動作モードの変更処理におい て、動作モード変更のためのOS再起動の処理に 入った後でも、別の動作モードへの変更指示を 受け付けることが可能となっており、これが実行さ れた場合には瞬快の環境が壊れてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	瞬快コンソールからモード変更指示 を行う場合などでは、先に実施され ているモード変更処理が終了したこ とを確認してから実施してください。 瞬快環境が壊れてしまった場合の 対処方法については、瞬快のサ ポートセンターまでお問い合わせく ださい。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復 モードでインストールされたPCで、稀にOSがフ リーズ状態(マウスカーソルは動作するが、クリック しても反応しない)になってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	AMI BIOSの搭載されている一部の機種では、 UEFIが有効である場合に瞬快クライアントを修復 モードでインストールすると、OS起動時に「Init() failed」のメッセージが表示され、OSが起動しな くなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	BISO互換モードでOSをインストール してください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCでは、Internet Explorer上でファイルのリンクをクリックして直接ファイルを開こうとすると、そのファイル名が2バイト系文字を含むロングファイル名である場合、ファイルが削除されている旨のメッセージが出て開けない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	添付ファイルをディスクに保存してから開くと、問題は発生しません。	
	瞬間復元ドライバ	HP社製の一部の機種のパレインストール環境では、不正なレジストリ(終端文字が無い)を含む状態となっており、この環境に瞬快クライアント機能をインストールすると、OS起動時に0x7BのSTOPエラーが発生し、OSが起動しなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	異常が発生してしまった場合の対処方法については、瞬快のサポートセンターまでお問い合わせください。	
	クライアント	ドメインに参加しているクライアントPCにてプライマリDNSサフィックスの設定を空にしていると、リモートログオンの処理に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	なし	
	共通機能	基本認証が必要なSMTPサーバに対して、瞬快のメール送信機能が対応していない。	ポリシーエディタで基本認証に必要な項目を指定できるように改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	瞬快コンソールがインストールされているPCをリモートデスクトップ接続すると、STOPエラーの0xe1 または 0x0a が発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	固定IPのクライアントPCに対してリモート画面操作機能からログオン／ログオフ／シャットダウン／再起動／メッセージ送信の指示を行う場合、名前解決によりクライアントIPを取得できない状況では処理に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	Windows8.1のクライアントPCでは、切断されていたネットワークが復帰した後や、スリープから復帰した後、リモート画面操作機能が動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	“Syunkai Remote Display Service”のサービスを、手動で開始させてください。	
	リモート画面操作機能	Windows8.1に瞬快コンソール機能をインストールした場合、「単一PC操作」から「クライアントのサービス再起動」を実行すると「要求された操作には管理者特権が必要です」のエラーになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 共通	なし	
	資源配付機能	動作モードが修復モードであり、かつ、電源の入っていないクライアントPCに対し、スケジュール配付が実行された場合、修復モードのまま資源適用が行われてしまうことがあり、資源適用先が修復対象領域であった場合には、瞬間復元機能により、適用された資源が消えてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 特上	なし	
	システムリカバリ	LIFEBOOK A744/Hのディスクイメージ取得・配信を行う場合に、DR-DOSをブートエージェントに指定すると、「0 second Reboot」のメッセージが表示され、処理が止まってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 上、特上	ブートエージェントにWindowsPEを使用してください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ取得・配信の実施において、富士通法人向けパソコン用ドライバセットを組み込んだWindowsPEをブートエージェントとして指定すると、特定のLANDドライバを必要とする機種ではエラーになる。	富士通法人向けパソコン用ドライバセットに e1y6232.sys および e1k6232.sys を組み込みました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 上、特上	WindowsPEに必要なとなるLANDドライバを組み込んでください。	富士通機では、D5380、E8290、E8280、T8290、D5390、W380、W480、E780/A、P770/A、P770/B、T900/B、T730/B が該当します。
	システムリカバリ	サービスプログラムであるPXE Services (PXEService.exe)が、特定のバケットを受け取った場合にアプリケーションエラーになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	クライアント台数が増えると、システムリカバリコンソールの起動に時間がかかるようになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	LIFEBOOK A744/Hのディスクイメージ取得・配信を行う場合に、DR-DOSをブートエージェントに指定すると、10Mbpsでリンクアップされる場合がある。	対応LANDドライバを組み込みました。 本対応を有効にするには、A744/Hに対してBIOSのアップデートも合わせて行う必要があります。次のURLからダウンロードして適用してください。 【32-bit環境用】 LIFEBOOK A744/H用 BIOS書換データ V1.08(32ビット版) http://www.finworld.net/cgi-bin/driversearch/drvdownload.cgi?DRIVER_NUM=E1017698&COLOR=1 【64-bit環境用】 LIFEBOOK A744/H用 BIOS書換データ V1.08(64ビット版) http://www.finworld.net/cgi-bin/driversearch/drvdownload.cgi?DRIVER_NUM=E1017699&COLOR=1	【レベル】 Ver.11m以前 【グレード】 上、特上	ブートエージェントにWindowsPEを使用してください。	
Ver.11p	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Sophos Endpoint Security and Control 10.3に対応しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	－	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU4 MP1bに対応しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	－	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU5に対応しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	－	
	瞬間復元ドライバ	機能改善	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされた場合のディスクI/O性能を改善しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	－	
	リモート画面操作機能	機能追加	リモート画面操作機能で作成した「レイアウト」を、他のユーザと共用できる機能を追加しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	－	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	リモート画面操作機能	機能追加	リモート画面操作機能にて次の機能を追加しました。 ■画面転送機能にてコンソールのセカンダリディスプレイの画像をクライアントに転送する。 ■画面転送機能での画面転送先にクライアントのセカンダリディスプレイを指定可能とする。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	－	
	リモート画面操作機能	機能改善	無線LAN環境下でのリモート画面操作機能の描画性能を改善しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	－	
	システムリカバリ	機能追加	2014年度下期モデルの ESPRIMO、LIFEBOOK に対応しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 上、特上	－	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	システムリカバリ	機能追加	ARROWS Tab Q584/H において、システムリカバリ機能のイメージ取得・配信を可能としました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 上、特上	－	拡張クレードルまたはUSB-LAN変換ケーブルによる有線LAN接続が必要です。
	マルチブート	動作検証	CentOS 6.5 および CentOS 6.6 での動作を確認しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	－	
	瞬間復元ドライバ	ウイルスバスターコーポレートエディション(以降VBCorp.と記載)との連携においては、ウイルスパターン以外のコンポーネントのアップデートが実行されるとVBCorp.の動作に異常が発生するため、VBCorp.の設定を変更する必要がある。	ウイルスパターン以外のコンポーネントのアップデートが自動的に実行されてもVBCorp.が正常動作するようにしました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	なし	本レベルから、VBCorp.はインストール時の初期設定のままで共存可能となります。
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モードにて運用中に、コマンドシェル(コマンドプロンプト)上でDELコマンドを発行すると、削除対象ファイルが存在するフォルダの中の他のファイルまで一緒に削除される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	DELコマンドではなく、エクスプローラーにて削除を行ってください。	
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モードにて運用中に、Google社の写真管理用ソフト Picasa3 のアップグレードインストールができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	パーティション単位の修復モードにて実施してください。	
	瞬間復元ドライバ	デフォルトプロファイルに特定のカスタマイズがされた環境において、ファイルフォルダ単位の修復モードにて運用中にWindowsへログオンすると、一時プロファイルでログオンされる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬間復元機能が使用するワークファイルの削除に失敗し、「SCL00042 ファイルシステムの異常を検知しました...」のメッセージが出力されることがある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	次の2点の条件を満たす場合にファイルフォルダ単位の修復モードにすると Adobe Reader を起動できない、もしくは起動しても「応答なし」となる。 ・OS が Windows 8 または Windows 8.1 である。 ・Adobe Reader のバージョンが 11.0.09 または 11.0.10 である。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	Windows 8.1 の環境において、ファイルフォルダ単位の修復モードにて運用中に、修復対象フォルダ内に作成されたファイルやフォルダが見えなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	なし	
	共通機能	メール送信機能にてSMTP認証が必要なメールサーバーを使用するとメール送信に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	なし	
	サーバインストーラ	「SQL Server Browser」サービスがインストール済みの環境に瞬快サーバ機能をインストールする場合において、「SQL Server Browser」サービスが停止していると「SQL Server Browser」サービスが無効になる。 このことで「SQL Server Browser」サービスを必要とするアプリが動作しなくなる可能性がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	「SQL Server Browser」サービスのスタートアップの種類を「自動」に変更してください。	
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能にて接続中のPCにリモートデスクトップ接続を行う場合において、クライアントがログオンされていない状態、あるいはクライアントが別のユーザーにてログオンされている状態のPCにリモートデスクトップ接続すると、リモート画面操作機能のモニタリングおよび遠隔操作ができなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	リモートデスクトップを切断し、クライアントにログオンしなおすことで回復します。	
	リモート画面操作機能	ネットワークが不安定な環境では、モニタリングもしくは遠隔操作を実施中に、画面がモノクロ表示となり、描画が更新されない状況となる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	クライアントの再選択操作(切断・再接続)で回復します。	
	リモート画面操作機能	クライアントOSが Windows 8 もしくは Windows 8.1 の場合において、Modern UI のスタート画面や Modern UI アプリケーション(ストアアプリ)が表示されていると、ブラックアウトロックが動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	ディスク書き込み性能の低い環境では、ディスクイメージ取得にてタイムアウト終了する場合がある。	タイムアウトと判断するための閾値を下げ、なるべくタイムアウトしないようにしました。	【レベル】 Ver.11n以前 【グレード】 上、特上	ディスクイメージ格納先をウイルス対策ソフトのチェック対象から除外することで改善する場合があります。	
	Ver.11p+	ドライバ	ウイルスバスターCorpと瞬快クライアントがインストールされたPCで、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでにすると、OS起動中またはログオン中にOSがフリーズする場合がある。	【レベル】 Ver.11p 【グレード】 共通	なし	
Ver.11r	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 に対応しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 共通	－	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	機能改善	より多くのUEFIの機器で瞬間復元機能が動作するように、瞬間復元ドライバに複数の復元方式を搭載しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 共通	レガシーブートにてOSをインストールし直してください。	対象機種に最適な復元方式はUEFIチェックツールにて確認してください。
	瞬間復元ドライバ	ブート方式にWIMブートが採用されたPCに、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでインストールすると、OSの起動が著しく遅くなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードにて動作しているPCにおいて、「SCL00042 ファイルシステムの異常を検知しました」のエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 共通	修復無効モードに切り替えることで、一時的に問題を回避することができます。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードにて動作しているPCにおいて、Windows フォトビューアーにて開いた画像を回転させると、ファイルが破損し開けなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 共通	画像ファイルを右クリックすると表示される「右回りに回転」「左回りに回転」を使って画像を回転させるとファイルは破損しません。	フォトビューアーが画像ファイルを開く標準ソフトに設定されているのはWindows 7までとなります。
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードで動作しているPCにおいてA&A社製「Vector Works 2015」を起動すると、これを終了できない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	サイレックステクノロジー社製「SX Virtual Link Display」がインストールされたPCにおいて、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードにすると、Windows 8のストアアプリとしてプレインストールされているカメラアプリが起動できず、「このWindowsのバージョンではカメラアプリは使用できません。」と表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 共通	Windows 8.1のカメラアプリでは問題は発生しません。	
	システムリカバリ	瞬快のシステムリカバリ機能にてネットワーク設定に失敗した場合、エラーで処理を停止せずに続行し、正常終了となっていた。	ネットワーク設定に失敗した場合は、直ちに処理を停止するように仕様を変更しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリサーバーバインストーラ	瞬快のシステムリカバリサーバーの版数アップにおいて、古い版数をアンインストールして新しい版数をインストールすると、「コマンド処理中にエラーが発生しました。」のメッセージが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 上、特上	システムリカバリサーバーのアンインストール後に、PCを再起動してから新しい版数をインストールしてください。	
	リモート画面操作機能	瞬快のリモート画面操作機能を使って、クライアントPCにファイルコピーを行うと、コピー終了後にクライアントPCが操作できなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	瞬快のリモート画面操作機能の単一PC操作を行っている際に、コンソール側でタッチパッドを使用して横スクロールを行うと、リモート画面操作のコンソールプログラムが異常終了する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11p+以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.11r+	WindowsUpdate連携	UEFIブートのクライアントPCにて、WindowsUpdate連携機能を使用すると、更新プログラム適用後に復元方式がB方式に切り替わってしまう。このため次のような事象が発生する場合がある。 ・瞬間復元ドライバが正常動作しなくなる。 ・OSが起動しなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11r 【グレード】 共通	(1)瞬間復元ドライバが正常動作しなくなった場合は、修復無効モードに切り替えた後、本来の復元方式を選択してから修復モードに切り替えてください。 (2)OSが起動しなくなった場合は、OS起動前の起動デバイス選択メニュー（富士通製PCはF12キー押下）から、ハードディスクを選択してOSを起動させ、(1)の操作を行ってください。	
Ver.11s	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP3 に対応しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	－	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP1 および MP1a に対応しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	－	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	McAfee VirusScan Enterprise 8.8 Patch6 に対応しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	－	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター コーポレートエディション 11.0 SP1 に対応しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	－	
	システムリカバリ	機能追加	Microsoft Office 2016(デスクトップ版)のアクティベーションに対応しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 上、特上	－	
	システムリカバリ	機能追加	2015年度下期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 上、特上	－	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	瞬間復元ドライバ	Microsoft社製 Surface 3 において、修復モードにするとOSが起動しなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位の修復モードにおいて、瞬間復元ドライバのスタック消費量が多くなり、スタックオーバーフローによるSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	NEC社製PCの中にはUEFIチェックツールを実行すると、判定結果がA方式となるにも関わらず、A方式の修復モードにすると瞬間復元ドライバが正常に動作していない旨のエラーが発生する機種が存在する。	UEFIチェックツールを改修し、正しい結果(機能制限方式)を返すようにしました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	エラーの発生する機種では機能制限方式の修復モードにしてください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モード中に、修復対象にしたFAT32のドライブ上でVisualStudio2010のVBのプロジェクトを作成し保存する、またはビルドすると0x23のSTOPエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	NTFSのドライブにプロジェクトの作成を行ってください。	
	クライアント	WindowsUpdateを実行中は修復モードに変更できないよう制御しているが、WindowsUpdateにて要求される再起動を保留した状態では修復モードに変更できてしまい、この場合、PCが再起動を繰り返す状態になる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	なし	
	サーバ	瞬快サーバに数百台の瞬快クライアントを同時に接続すると瞬快サーバが異常終了する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	環境設定WizardでのWindows PEブートエージェンツの新規作成の画面にてサポート外としている「Windows PE 3.1 (Windows 7以前用) x64」が選択できるようになっている。	選択肢に「Windows PE 3.1 (Windows 7以前用) x64」が表示されないようにしました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 上、特上	－	
	システムリカバリ	瞬快コンソールでのクライアントグループの作成において、グループ名に半角カンマの文字を含めると、システムリカバリコンソール起動時にエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 上、特上	グループ名に半角カンマの文字を使用しないでください。	
	システムリカバリ	システムリカバリコンソールにてクライアントPCのコンピュータ名を変更した場合、変更前のコンピュータ名を使用して新しくクライアントPCを登録することができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11r+以前 【グレード】 上、特上	システムリカバリコンソールにて変更したコンピュータ名を、瞬快コンソールにて別の名前に変更することで異常は解消されます。	
Ver.11t	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ESET Endpoint アンチウイルス V6.2 に対応しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 共通	－	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP4 に対応しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 共通	－	
	システムリカバリ	機能追加	2016年度上期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 上、特上	－	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	瞬間復元ドライバ	32ビットUEFIのPCで修復モードに切り替えると、OS起動直前の1～2秒の間、画面左上に瞬間復元ドライバのデバッグ用文字列が表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダの修復モード中にPhotoshopで画像ファイルの保存を行うと、数回に1回程度の確率で、保存したファイルのアイコンが表示されないことがある。 この場合も、保存処理自体は行われており、F5キーを押すことでアイコンが表示されるようになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 共通	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	エフセキュアのパターンファイルの情報取得処理がタイムアウトで失敗する場合があった。	タイムアウト時間を1秒から3秒に延長しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 共通	なし	
	スケジューラ	スケジューラ機能によるログオン処理のスケジュールでは、ドメインへのログオンが指定できない。	ドメインへログオンできるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	Windows Vista にて複数PC操作のレイアウト編集を実施した際、各クライアントをレイアウト編集画面で選択することはできるが、ドラッグアンドドロップで位置を変更することができない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集	利用情報収集機能の稼働チャートで、電源ON/ログオン/ログオフ/電源OFFを繰り返しているにもかかわらずPCがログオンし続けている状態で見えてしまう場合がある。	強制電源断など、PCの電源OFFが正しく検知できなかった場合は、その際の電源ON～電源OFFまでを稼働チャートに表示させないように改修しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 共通	なし	
	サーバ	瞬快サーバを版数アップした後にエクスポートしたデータを、新規インストールした瞬快サーバへインポートさせた場合に、瞬快サーバの版数は同じであってもデータが正しくインポートできない場合がある。	瞬快サーバを版数アップした場合と新規インストールした場合で、データの構造が同じになるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	クライアントPCのリモート登録(手動登録)では、コンピュータ名の先頭文字に数字が使えない。	コンピュータ名の先頭文字に数字を使えるようにしました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリの実行結果ログの[CSV出力]を行うと、以下のエラーが発生する場合がある。 SRO00040 (X) ファイルへの書き込みができませんでした。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11s以前 【グレード】 上、特上	なし	
Ver.11u	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 14.0 に対応しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	－	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP6 に対応しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	－	
	システムリカバリ	機能追加	2016年度下期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 上、特上	－	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	クライアント	機能追加	瞬間復元の簡単設定にて、ジャストシステムの ATOK 2016 に対応しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	－	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがインストールするPCにおいて、デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっていることを見落として修復モードへ変更してしまうと、OS環境に異常が生じる。	デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっている状態では、修復モードへの変更指示を受け付けないようにしました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっている状態で修復モードへの変更は行わないでください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイル・フォルダ単位の修復モードでインストールされたPCでは、Windows8.1のフォトアプリにおいて、カメラで写真を撮影したり、外部媒体から画像のインポートを実行したりしても、その画像が表示されない。 また、ストアアプリの YouCam Mobile for FUJITSU でも、撮影した写真が表示されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	なし	修復モードに切り替えを行う前に、ユーザープロファイルが存在する場合は画像が表示されますが、修復モードに切り替えた後に、ユーザープロファイルが作成される場合は、画像は表示されません。
	瞬間復元ドライバ	修復モードの状態で、長期間(半年以上)運用すると、レジストリにキャッシュされているデータが古いままになるため、通知領域アイコンが壊れたり無くなったりすることで、通知領域アイコンからのプログラム起動ができなくなる。	修復モードへ切り替える時に、レジストリにキャッシュされている通知領域のアイコンデータをクリアするようにしました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	本製品DVDの以下のフォルダ内にあるスクリプト使ってキャッシュをクリアしてください。 Tool¥Scripts¥DeletelconStreams 使用方法はフォルダ内のReadme.txtを参照ください。	
	瞬間復元ドライバ	Symantec Endpoint Protection(SEP)がインストールされた次の環境の場合、瞬快クライアントをファイル・フォルダ単位の修復モードにすると、SEPのサービスが起動しない。 ・KB3170377 または KB3172614 の更新が適用されている 32bit の Windows8.1	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	修復モード中にI/Oエラーを検知すると瞬間復元ドライバ(skfil.sys)はエラーログをディスクのLBA33に書込む。 MBRディスクのLBA33は未使用領域であるが、GPTディスクのLBA33はパーティションテーブルとして使用されており、パーティション125～128の情報が書き込まれる。 LBA33にエラーログが書き込まれると、次回起動時よりパーティションテーブル異常と判定し、ディスク異常と通知される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	修復モードへの切り替え時にはディスク先頭領域をバックアップしており、修復無効モードへの切り替え時にはこれをリストアしますので、通常であればLBA33のエラーログは残りません。	
	システムリカバリクライアントインストーラ	システムリカバリクライアントの、新規インストールや版数アップの処理が失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 上、特上	なし	
	クライアント	有線LANと無線LANの両方を搭載したPCに、瞬快クライアント機能をインストールした場合、有線LANを無効にしなければ無線LANの情報が瞬快サーバに通知されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	スケジューラ機能を使って、クライアントPCへ指示を出しても、指示通りに動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	64bit の Windows7 に瞬快クライアントをサイレントインストールする際、SHA-2証明書に対応している更新プログラムが適用されているにもかかわらず、インストールが中断されてしまう。	サイレントインストールを行う場合は、SHA-2証明書に対応した環境かどうかを判定するための更新プログラム(KB3033929)の適用確認を行わないようにしました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	なし	Windows7 x64に瞬快クライアントをインストールする場合、2015年4月以降の更新プログラムを必ず適用するようにしてください。
	クライアントインストーラ	1台のPCへ、瞬快コンソール、瞬快クライアントの順にインストールを行うと、リモート画面操作機能の画面転送を受信できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	瞬快クライアント、瞬快コンソールの順にインストールを行ってください。	
	クライアントインストーラ	システムリカバリの[ディスクイメージ配信]もしくは[Windows環境の設定]の処理において、Windows 8.1に対して瞬快クライアントのサイレントインストールを行うと失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 上、特上	なし	Windows 8.1以外のOSでは発生しません。
	システムリカバリ	システムリカバリコンソール起動時に、次のエラーが発生する場合がある。 ・SRO00095 設定ファイルの読み込みに失敗しました。環境をご確認ください。 ・SRO05123 環境設定ファイルの取得に失敗しました。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリサーバを再起動せずに長期間利用し続けると、システムリカバリサーバのデータベースが肥大化する。 これにより、イメージ配信等のサービス実行時に、「リクエストの開始命令の発行に失敗したか、サービスのパラメータエラーが発生しました。」というエラーが発生し、サービスが実行できなくなる場合がある。	システムリカバリサーバのデータベースサイズが閾値を超えた場合に、通知メッセージを表示させるようにプログラムを改修しました。 システムリカバリコンソールを起動したときに、次のメッセージが表示された場合には、メッセージに従いサービスを再起動させて下さい。 「システムリカバリサーバのデータベースが肥大化している恐れがあります。システムリカバリコンソールを終了させてから、システムリカバリサーバのDeployment Serviceのサービスを再起動してください。」	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 上、特上	定期的にシステムリカバリサーバのDeployment Serviceのサービスを再起動させてください。	
	システムリカバリ	システムリカバリのサービスの設定において、「アクティベーションが失敗した場合に処理を停止する」のチェックを外している場合、サービス実行時にアクティベーションできない場合でも処理が継続されないといけませんが、アクティベーションできない場合には処理が継続せずにエラー終了してしまふ。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリコンソールを起動すると、次のエラーが発生する場合がある。 「C:¥ProgramData¥Syunkai Product¥Console¥Manage¥Sro¥client.csv へのアクセスは拒否されました。」	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 上、特上	現象が発生した場合は、以下のファイルを削除して下さい。 C:¥ProgramData¥Syunkai Product¥Console¥Manage¥Sro¥client.csv	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ	システムリカバリサーバと瞬快コンソールの版数 が一致しない場合、システムリカバリのコンソール 表示時 次のエラーが発生する。 「指定されたパラメータは正しくありません。引数 が範囲外の値です。」 または、 「システムリカバリサーバとの通信が切断されま した。システムリカバリ管理機能を終了し、再度起 動してください。」	瞬快コンソールを起動したときに、版数チェックを行う処理を 追加しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 上、特上	瞬快サーバ、瞬快コンソール、シス テムリカバリサーバの版数は必ず一 致させてください。	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携の処理において、更新プロ グラムの検索や適用に長い時間を要する場合が あることで、5時間のタイムアウト時間では処理が 終了しない事例が増えている。	WindowsUpdate連携のスケジュール作成時にタイムアウト時 間を延長できるようにしました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	WindowsUpdate連携処理が5時間 以内で終了するよう、クライアント環 境もしくはWSUSにて調整してくださ い。	
	スケジューラ	瞬快のスケジューラ機能で、同時に多台数(100 台以上)を同時実行した場合、Windowsが過負荷 状態になり、スケジューラが正常動作しない場合 がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	同時に実行する台数を少なくしてく ださい。	
	管理機能	瞬快コンソールの機器管理の一覧にて最新情報 を表示した場合、クライアントPCが電源オフで あるにもかかわらず、電源オンと表示されてしまう場 合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11t以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.11v	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP7 に対応しまし た。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	ー	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター コーポレートエディション XG に対応しまし た。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	ー	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 14.0 MP1 に対応しました。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	ー	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター コーポレートエディション 11.0 SP1 Patch1 に対応しました。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	ー	
	瞬間復元ドライバ	Office 2013以降のボリュームライセンス製品を除 く全てのMicrosoft Office製品では、Officeの自動 更新が、Windowsのタスクに登録された「Office Automatic Updates」により自動的に行われるよう になっているが、ファイル・フォルダ単位の修復 モード中に、このタスクが動作してOfficeに更新が かかると、更新内容によってはOfficeファイルの管 理情報に異常が生じ、Officeファイルが開けなく なる。	クライアント機能を新規インストール時に、タスクスケジューラ に「Office Automatic Updates」が登録されていればタスクを 無効化させるように修正しました。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	タスクスケジューラから「Office Automatic Updates」を無効にして下 さい。	
	瞬間復元ドライバ	UEFI設定時のブートエントリとしての Windows Boot Manager(WBM) が複数登録されたような異 常な環境において、修復モードへの切り替えを 行うとPCが正常起動しなくなる場合がある。	異常なWBMをスキップするようにし、PCが正常起動されるよ うに修正しました。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	複数のWBMが登録されている場合 は、bcdedit.exe /delete コマンドで WBMをすべて削除した後、次のコ マンドを実行し、正常なWBMを登録 してください。 bcdboot.exe c:\¥Windows /L ja-jp	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位の修復モードにて運用を続 けていると、「ファイルシステムの異常を検知しま した」のエラーが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	動作モードを修復モードへ変更した際に、次のよ うな状態になりOSが起動しなくなる機種がある。 【レガシーブートの場合】 OS起動中の黒画時、画面左上にてカーソルが点 滅する状態になる。 【UEFIブートの場合】 OS起動中の黒画時、画面中央に「Cannot load PreparationOfBootOS」のメッセージが表示され る。	【レガシーブートの場合】 ファームウェアの問題を回避し、起動処理を止めないように プログラムを改修しました。 【UEFIブートの場合】 ファームウェアの問題を回避する設定を可能としました。 設定方法については、サポートセンターまでお問い合わせく ださい。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	瞬快クライアントインストール後、修復無効モード にてプリフェッチ・スーパーフェッチの設定を変更 しても、修復モードにすると瞬快標準設定に戻さ れてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	なし	
	コンソール	瞬快コンソールにおける機器一覧の表示におい て、IPアドレスが127.0.0.1となるPCがある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.11v+	リモート画面操作機能	画面補正機能が動作しないアプリケーションが存 在する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11u以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	レガシーブートのOS環境にVer.11vをインストール して修復モードにする場合、機種によっては、 次の様な画面表示にて停止し、OS起動しなくな る。 ・黒画面にてカーソルが点滅 ・機器メーカーのロゴ画面 ・「Windows を起動しています」の画面	プログラムを改修しました	【レベル】 Ver.11vのみ 【グレード】 共通	なし	Ver.11vで既に修復 モードで正常動作して いる場合は、Ver.11v+ に版数アップする必要 はありません。